

# Mémoires 2022

## 第63回 宝塚記念 (GI)



### 横綱相撲でGI連勝 タイトルホルダー

圧巻のコースレコード快走、横綱相撲で上半期の王者に輝いた。

ファン投票1位となったのは史上最多の19万1394票を集めたタイトルホルダーだった。単勝1番人気こそ大阪杯9着からの復権を期すエフフォーリアに譲ったが、阪神競馬場は菊花賞を5馬身差、前走の天皇賞(春)も7馬身差で逃げ切っている舞台。そんな得意コースで、見事に期待に応える走りを披露した。

ゲートが開くと、横山和生騎手が「スタートの上手な馬なので、(他馬が)来るなら来い、というつもりで出してきました」と振り返ったように、好ダッシュから先手を取りに行くタイトルホルダー。

しかし、これに外から並びかけて交わしたのが、ドバイターフを同着で優勝してきたパンサラッサだった。レース前の宣言通りに先頭を奪うと、1000m通過57秒6のハイペースで飛ばしていく。

タイトルホルダーはこの激しい流れを2番手で追走。抜群の手応えでパンサラッサを捉えながら直線に向くと、力強く突き放してリードを広げる。香港C2着のヒシイグアス、天皇賞(春)2着のディーブوند、前走のヴィクトリアマイルで約1年ぶりの復帰を果たしたデアリングタクトらが必死に追撃するが、それらを寄せ付けず2馬身差でゴール。完勝で3つ目のGIタイトルを獲得した。2分09秒7は、アーネストリーのタイムを11年ぶりに更新するコースレコードだった。

横山和生騎手はこれがタイトルホルダーでの天皇賞(春)に次ぐGI2勝目。祖父・富雄元騎手、父・典弘騎手に続く親子3代の宝塚記念制覇という快挙を達成した。

陣営は、この勝利を受けて秋の凱旋門賞挑戦を明言。現役最強を証明した王者が、次なるチャレンジへ向かう飛躍の一戦となった。

#### 第63回宝塚記念 (GI)

6/26 阪神競馬場 2200m(芝・右)晴・良 17頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	タイトルホルダー	牡	4	58	横山 和生	栗田 徹	R2:09.7	②	2   2   2   2
2	ヒシイグアス	牡	6	58	D.レーン	堀 宣行	2	⑤	6   6   6   5
3	デアリングタクト	牝	5	56	松山 弘平	杉山 晴紀	2	④	10   10   8   8
4	ディーブOND	牡	5	58	和田 竜二	大久保龍志	ハナ	③	3   3   3   3
5	マイネルファンロン	牡	7	58	M.デムーロ	手塚 貴久	1 3/4	⑭	8   8   6   5
6	エフフォーリア	牡	4	58	横山 武史	鹿戸 雄一	ハナ	①	9   8   8   10
7	ウインマリリン	牝	5	56	松岡 正海	手塚 貴久	1 1/4	⑨	4   5   5   4
8	パンサラッサ	牡	5	58	吉田 豊	矢作 芳人	アタマ	⑥	1   1   1   1
9	ステイファースリッシュ	牡	7	58	坂井 瑠星	矢作 芳人	2	⑩	11   10   11   11
10	ギベオン	牡	7	58	西村 淳也	藤原 英昭	1 3/4	⑰	6   6   8   8
11	ボタジェ	牡	5	58	吉田 隼人	友道 康夫	3/4	⑧	12   12   11   11
12	グロリアムンティ	牡	4	58	福永 祐一	大久保龍志	2	⑬	14   14   13   13
13	メロディーレーン	牝	6	56	団野 大成	森田 直行	3/4	⑯	12   13   13   15
14	アリーヴォ	牡	4	58	武 豊	杉山 晴紀	1/2	⑦	17   17   17   17
15	アイアンバローズ	牡	5	58	石橋 脩	上村 洋行	クビ	⑮	15   15   13   15
16	アフリカンゴールド	騾	7	58	園分 恭介	西園 正都	1 1/4	⑫	4   3   3   5
17	キングオブコースジ	牡	6	58	横山 典弘	安田 翔伍	大差	⑪	15   15   16   14
除	オーソリティ	牡	5	58	C.ルメール	木村 哲也	競走除外	---	---

単勝 ⑥420円 複勝 ⑥180円 ⑩250円 ⑦240円 枠連(3-5) 2,520円  
馬連 ⑥-⑩2,060円 馬単 ⑥-⑩3,420円 ワイド ⑥-⑩780円 ⑥-⑦710円 ⑦-⑩840円  
3連複 ⑥-⑦-⑩5,150円 3連単 ⑥-⑩-⑦25,220円

ハロンタイム 12.5-10.4-11.0-12.1-11.6-12.1-11.9-11.8-11.9-12.0-12.4  
通過タイム 600m ③33.9-800m ④46.0-1000m ⑤57.6-1200m ⑥1:09.7-1400m ⑦1:21.6-1600m ⑧1:33.4-1800m ⑨1:45.3-2000m ⑩1:57.3



優勝馬: **タイトルホルダー**  
2018.2.10生 牡 鹿毛  
父: ドゥラメンテ  
母: メーヴェ  
母の父: Motivator  
生産: 新ひだか・岡田スタッフ  
馬主: 山田弘氏